

訪れたいから暮らしたいへ 交流定住

真庭市では、「交流・定住」を最も重要な施策と位置付けています。全ての施策を交流・定住につなげ、魅力ある地域づくりと交流産業の推進、そして移住定住の推進を目指しています。今年4月には、情報収集・発信の拠点となる「真庭市交流定住センター」がオープン。今回は交流定住センターとふるさと回帰をテーマに行う愛ラブ真庭PR大作戦について紹介します。



真庭市交流定住センターでは、地域おこし協力隊と集落支援員が移住相談などの業務を行っています。後列左から、松尾敏正さん、海野文雄さん、松本哲一さん（集落支援員）、前列左から、山形彩子さん、伊藤めぐみさん

交流定住推進計画を策定 5年で社会増を目指す

真庭市は、今年3月に「真庭市交流定住推進計画」を策定しました。これは、あらゆる分野の施策を連携して交流産業を推進し、定住人口の増加を図るためのもの。真庭市が「訪れてみたい」「住んでみたい」と思われ、「自分らしい生き方を実現する」場として選択されるようになることを目指しています。計画では、交流定住を進める5つの基本方向によって、今ある施策の整理や新規施策の策定を考える方を示し、転入者が転出

者を上回る『社会増』を平成30年には実現するという目標を設定しました。

戦略プランで 交流定住センターを計画

また、同時に具体的な施策を盛り込んだ「真庭市交流定住推進戦略プラン」も策定し、4つの重点施策を掲げました。その一つとして計画されたのが交流定住センター機能の整備。これを受け、4月23日に移住や定住の情報収集・発信拠点となる「真庭市交流定住センター」がオープンしました。

真庭市交流定住推進計画

▶ 交流定住推進の基本方向

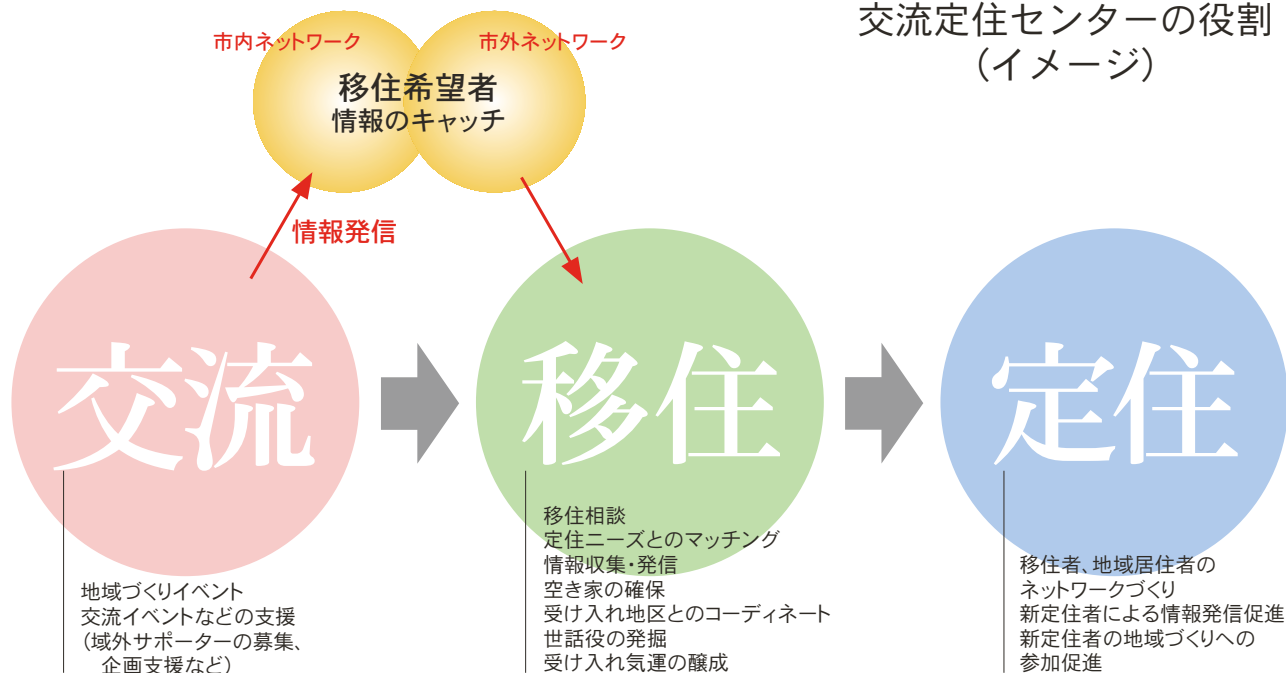
- ①活用する地域資源の発掘・創出
- ②各段階での施策の連携
- ③新たな交流分野の創出
- ④ネットワークと情報の活用
- ⑤地域力の強化を支援する

真庭市交流定住推進戦略プラン

▶ 重点施策

- ①シティプロモーションの推進
- ②交流定住センター機能の整備
- ③交流定住の推進を目的とする法人組織の設立
- ④真庭市ネットワークの構築

交流定住センターの役割 (イメージ)



真庭市交流定住センター

真庭市久世2374-3 (真庭市市民活動支援プラザ内)
TEL 0867-44-1037 (代表)
080-2930-8023 (直通モバイル)
FAX 0867-44-1037
開館時間 ▶ 10:00~17:00
休業日 ▶ 月曜日

真庭市交流定住センターでは、移住や定住に関する情報収集や発信のほか、地域活動の支援も行います。真庭市へのUターン、Iターンを考えている人へのワンストップ窓口として、市民と行政が一体となった地域づくりの拠点となることを目指しています。また、市役所の振興局、各支局には交流定住センターの分室を設けており、地域振興主管に任命された職員が中心となって、各地域での交流や定住に関する事業に取り組んでいきます。

業務内容

- ①交流、移住、定住に係る調査、情報収集、情報発信、情報共有
- ②交流、移住、定住事業
- ③移住・定住の相談業務
- ④地域資源の発見、高付加価値化の支援
- ⑤地域資源を活用した産業化の支援
- ⑥地域の情報化、情報発信



真庭市空き家情報バンク

真庭市では、個人が所有していて現在居住していない市内の住宅で、所有者が賃貸、売買したいという物件を空き家情報バンクに登録しています。登録された物件は、市がホームページなどに公開し、移住希望者に紹介する仕組みを作っています。

☎ 総合政策部総合政策課 TEL0867-42-1169

登録された物件は、住まい探し支援サービス (http://www.ok-smile.jp/ij_pub/?mid=1007) で検索することができます

真庭市交流定住センターで移住相談などの業務もこなす地域おこし協力隊。そのリーダーである松尾敏正さんに、隊員の活動やセンターのことについてお話を伺いました。

地域活動と移住のお手伝い

私たち地域おこし協力隊は現在4人で活動しています。協力隊というと「ある集落に住み込んで地域の中心で活動をする人」と思われがちですが、真庭市の協力隊の仕事はちよつと違います。4人が自分なりのスタイルで動いていますが、基本的な活動は地域活動のサポートやコーディネートといった側面からのお手伝いです。そしてもう一つが交流定住センターの業務。ここを協力隊の活動拠点としながら、移住相談業務も行っています。とはいっても、まだ真庭にやってきたばかりです

から、知識も経験もなく苦労することが多いですね。幸い集落支援員の松本さんがいてくださるので、いざというときには頼りにしています。

情報をキャッチし発信を

現在私たちは、「地域カルテ」といったものを作成しています。これは、学校や病院、買い物をするお店など、その地域の生活情報をまとめたものです。つまり移住を考えたときに知りたい情報ですね。真庭市は広いのでまだまだこれからですが、地域自主組織や自主防災組織といった地域の皆さんにご協力をお願いしながら、市全域の情報をくまなくキャッチし、ていきたいと思います。また、空き家や雇用に関する情報など移住を可能とする情報を発信するホームページ「交流定住プラットフォーム」の作成にも取り掛かっています。

きつかけや決め手が大切

私たち自身も移住者の一人。そういった立場でも移住希望者のお役に立てることがあるはず。現在取り組んでいるフェイスブックを使う移住者同士のネットワーキングもその一つです。移住してくれたら後は自由という考え方もありますが、苦労するのは暮らし始めてから。悩みや苦労を相談できる環境づくりは大切です。こういったことも、移住をするときの安心感につながるのではないのでしょうか。移住や定住にはきつかけや決め手が必要だと思います。私たち地域おこし協力隊はその活動を通じて、きつかけや決め手を提供できるように、地域のサポート役としてしっかりとやっていきますね。



真庭市地域おこし協力隊
リーダー 松尾敏正さん

な



4人目の協力隊員となった山形彩子さん(5月28日の委嘱式)

真庭で働く 立地着々、雇用拡大に期待

工場などの新規立地や増設により地域の雇用拡大を図る真庭産業団地。市では、優遇制度の拡大や積極的なPRで誘致活動を進め、平成25年度以降で4社の立地が決定しました。中でもバイオマス発電では、発電所での直接雇用のほかに、木の切り出しや搬出といった間接的な作業で百人規模の雇用が期待されています。平成27年4月には4社全てが稼働予定です。

[立地企業4社の概要]

- ・ エスアンドエスプロダクツ(株)
食品用プラスチック容器の製造
- ・ 株真庭バイオマス発電
未利用木材などを燃料とした発電
- ・ 株菱善
製紙用チップなどの製造
- ・ 真庭木材事業協同組合
燃料用木質チップの製造



着々と建設が進むバイオマス発電所

ラブ Love 真庭PR大作戦 第3弾!



ふるさとPRはがきを挿入しています

愛ラブ真庭PR大作戦の第3弾として、はがきを挿入しています。第1弾の「観光」、第2弾の「ふるさと納税」に続いて、今回は「ふるさと回帰」がテーマ。8月に開催するふるさと回帰フェアのご案内も兼ねていますので、真庭を離れているお子さんやご友人に「真庭に戻ってきませんか」といったメッセージを送りましょう。もちろん、真庭がふるさとでない人でも結構です。交流定住の始まりは情報発信から。市民皆さん一人一人がキーマンです。ぜひご協力をお願いします。

市役所窓口にも用意しています

絵はがきは3枚1セットになっています。足りない場合は、市役所本庁舎や振興局、各支局の窓口を用意していますのでご利用ください。(数には限りがあります)

ふるさと回帰フェア

ふるさとに帰りたい!真庭で暮らしたい!を応援するイベントを開催します。就職やUIJターンの総合相談デスクなどを設けます。お盆で帰省中のご家族やお知り合いなどお誘いあわせの上、ぜひご来場ください。

8月
11日(月)~15日(金)
10:00~16:00
市役所本庁舎にて

就職+移住・定住

★真庭にUIJターンを希望する人で、フェア当日に愛Love真庭PR大作戦のはがきを持参された人には、抽選で記念品をプレゼントします。

問い合わせ先

就職・雇用に関すること 産業観光部商工観光課 TEL 0867-42-1033
移住・定住に関すること 総合政策部総合政策課 TEL 0867-42-1169